

平成15年度経営構造対策事業計画評価表(第2年度目)

都道府県名	石川県		施設整備	事業内容	実施(予定)年度	受益戸数	受益面積
市町村名	寺井町、根上町 辰口町、川北町			米麦流通合理化施設	平成14年度	708	910.0
地区名	能美地区			大豆乾燥調整貯蔵施設	平成14年度	61	70.0
認定年度	14	目標年度		18	米乾燥調整施設	平成15年度	379
				高生産性農業用機械施設	平成15年度	32	21.0

1 全国共通目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
認定農業者の育成 (人)	36	71	38	45	71	71	71	
			39	48				
			150.0%	133.3%				
担い手への農地の利用集積 ha 上段()は 集積率で%	(25.7%) 625.0	(40.0%) 973.0	(25.7%) 625.0ha	(25.7%) 625.0ha	(29.8%) 725.0ha	(33.9%) 825.0ha	(40.0%) 973.0ha	
			(25.7%) 625.0ha	(28.7%) 641.8ha	()	()	()	
			100.0%	皆増				
遊休農地の解消 (ha)			0.0ha	0.0ha				
			0.0ha	0.0ha				
			100.0%	100.0%				
地域提案目標 (項目:)								

2 地区選択目標

(1) 一般選択目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
法人組織経営体の育成 (単位:法人数)	23	32	24	26	32	32	32	
			24	26				
			100.0%	100.0%				

(2) 水田農業構造改革目標

ア. 作付面積

作物名	計画時	目標	達成状況 (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
大豆	143.0	180.0	143.0	150.0	180.0	180.0	180.0	
			151.3	156.0				
			皆増	185.7%				

イ．販売計画

作物名	計画時	目標	達成状況 (上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
大豆	307.0	388.0	307.0	322.0	388.0	388.0	388.0	×
			207.0	182.0				
			0.0%	- 833.3%				

3 所見及び改善措置等

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成

関係機関等による支援指導体制が強化されており、今後もその育成に積極的な取組みを図る。

担い手への農地の利用集積

今後とも関係機関との連携を強化し一体的な推進を図り、農地利用集積率の向上に努める。

遊休農地の解消

土地利用計画に基づき農地の有効利用が図られており、今後も引き続き推進に努める。

地域提案目標

(2) 地区選択目標

法人組織経営体については、今後設立を模索する集落について、関係機関等との連携を図り計画的な育成を図る。大豆の作付面積は団地化を推進し、計画的な拡大を図る。

大豆の収量については、冷夏の影響による日照不足により、粒の肥大が緩慢であり、培土が不十分な圃場では、雑草の発生が多く育成量が減少した。今後はJAによる営農情報の周知徹底、営農指導の強化を図り単収の向上に努める。また、緑肥作付後の圃場に大豆の作付を拡大推進したいと考える。

ワークショップ等直売による販売の積極的展開が必要である。

(3) 施設の利用状況

能美地区の水稻作付け面積は、転作の拡大によりH13年度1804haであったものが、H15年度には1749haに減少した。

H15年度は冷夏の影響があり過去3年平均に比べて94.4%と減少した。また、全国規模で米の不作傾向にあり品薄の気運が高まったため、調整乾燥後、検査し直ちに出荷を行った。

これらのことからラック倉庫への集荷量がH15年度計画を下回り稼働率も下がった。

H16年度の改善措置としては認定農業者(大規模)を優先的にラック倉庫が使えるよう取り決めを行い、認定農業者に利用を呼び掛ける。

添付資料1

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

(1) 全国共通目標

3目標共にプログラムを達成しているが、大豆施設・機械の活用により作付け拡大・単収増加を図り、認定農業者の育成に取り組んでほしい。

(2) 地区選択目標

大豆の販売計画を除いて目標を達成したが、引き続き、関係機関が連携し、法人組織の育成を図る必要がある。

大豆の作付け面積は目標を達成したが、悪天候条件により単収が増加せず、結果として販売実績の達成には至らなかった。

(3) 施設の利用状況

大豆乾燥調製貯蔵施設については、大豆の単収が低かったことから、利用率を達成することができなかった。また、ラック倉庫についても、冷夏による単収の減少等により利用率を達成することができなかった。

今後は、基本技術の励行により、単収増加を図り各施設の利用率向上に努める必要がある。

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
高生産性農業用機械施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		高生産性農業機械 (ha)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		21 ^(a)		
実績	平成 1 5 年度	20.26 (b)	96.5 (b) / (a)	
	平成 年度	(c)	(c) / (a)	
	平成 年度	(d)	(d) / (a)	

2 担い手の受益割合

		高生産性農業機械 (ha)	左のうち担い手の利用 (ha) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
		A			
利用計画		21			
実績	平成 1 5 年度	20.26	18.5	91.3	
	平成 年度				
	平成 年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
大豆乾燥調整貯蔵施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		大豆乾燥調整施設 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		175 (a)		
実績	平成15年度	73 (b)	41.7 (b)/(a)	×
	平成 年度	(c)	(c)/(a)	
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		大豆乾燥調整施設 (t) A	左のうち担い手の利用 (t) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		175			
実績	平成15年度	73	52	71.2	
	平成 年度				
	平成 年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
米流通合理化施設	能美農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		米流通合理化施設 (t)	利用率 (%)	達成状況
利用計画		2,477 (a)		
実績	平成15年度	1,434 (b)	57.9 (b)/(a)	×
	平成 年度	(c)	(c)/(a)	
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		米流通合理化施設 (t) A	左のうち担い手の利用 (t) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		2,477			
実績	平成15年度	1,434	873	60.9	
	平成 年度				
	平成 年度				